

# リスクマネジメントの強化

事業全体におけるあらゆるリスク管理を強化するなかで、環境に関するリスクについても管理を強化しています。

## 環境公害防止体制および運用の強化

FDKグループでは土壌や地下水・大気などへの環境汚染などの公害を未然に防止し、環境法令を遵守するための環境保全活動を行っています。第四期環境行動計画では、環境公害の発生や環境法令違反などのリスクに対して、これまでの取り組みを強化した活動を展開しています。

### 第四期環境行動計画の目標

#### 環境公害防止体制および運用の強化

#### 環境公害防止体制の強化

FDKグループでは、環境マネジメントシステムの中で定期的な環境内部監査などにより、公害防止や法令遵守が確実に行われるように取り組んでいます。

2007年度は、公害防止の体制をより強化するため、適応する環境法令の要求事項が網羅されているかを、細部にわたって総点検するとともに、環境法令、公害防止のための役割と責務について、より実務に合った責任体制へと見直しを行うなどの取り組みを行いました。公害防止管理体制をより明確にするために、新たに各拠点ごとにサイト責任者を置きました。

今後は、より未然防止の観点から、監視・測定、情報連絡などの体制を総点検する他、社内監査での法令遵守・公害防止体制に関するチェックも強化していきます。

#### 緊急時対応訓練の実施

FDKグループでは、事故による環境汚染などの万一の異常事態に備え、緊急時対応訓練を各職場ごとで定期的に行っています。また、各工場単位で実施される防災訓練においては、工場敷地外への環境汚染の可能性を想定した対応訓練を行っています。



排水処理装置の故障を想定した対応訓練  
(湖西工場)

#### 法規制の遵守状況

FDKグループでは、2007年度も環境法令に関する違反や環境保全に関わる事故などはありませんでした。

#### 土壌・地下水の汚染への取り組み状況

FDKグループでは、1998年から1999年にかけて、揮発性有機化合物による土壌・地下水汚染の調査を行い1999年10月に土壌・地下水汚染が確認された4工場(鷺津工場・山陽工場・細江工場・大須賀工場)の汚染状況を自主的に公表し浄化作業を進めてきました。2002年には、細江工場の浄化が完了しました。

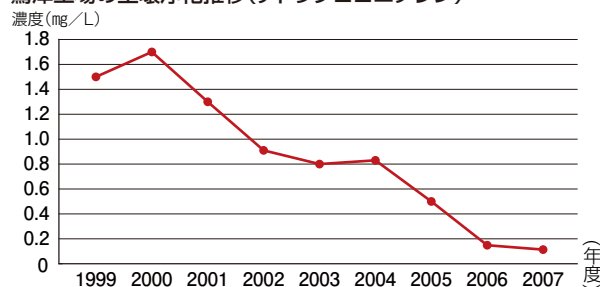
2004年に旧大須賀工場の土地の健全性を確認するため再度、土壌汚染対策法に基づく再調査を行い、土壌の健全性が確認されました。その他の工場においては、揚水バッキ法による土壌・地下水浄化作業を進めるとともに定期的なモニタリングを行い、浄化効果の検証を継続して行っています。

#### 土壌・地下水の浄化状況

##### 鷺津工場

主な汚染物質	浄化開始時の地下水濃度	現在の地下水濃度	環境基準値
テトラクロロエチレン	1.5mg/L('99年10月)	0.11mg/L('08年3月)	0.01mg/L

##### 鷺津工場の土壌浄化推移(テトラクロロエチレン)



##### 山陽工場

主な汚染物質	浄化開始時の地下水濃度	現在の地下水濃度	環境基準値
トリクロロエチレン	8.1mg/L('99年10月)	0.003mg/L('08年4月)	0.03mg/L

##### 山陽工場の土壌浄化推移(トリクロロエチレン)

